

## 令和4年春期 富岡第一地区推進連絡会

- 1 日時  
令和4年3月26日(土) 15:00～16:15
- 2 場所  
富岡ふれあいハウス
- 3 参加者  
(地域側) 自治会・町内会、地区社会福祉協議会 21名  
  
(支援チーム、その他行政側)  
区役所 6名  
区社会福祉協議会、地域ケアプラザ 4名  
小学校・中学校 4名  
  
司会進行 富岡第一地区社会福祉協議会 事務局長

### 【議題】

- 1 開会のあいさつ  
富岡第一地区 社会福祉協議会会長
- 2 金沢区福祉保健センター長あいさつ
- 3 社会福祉協議会事務局長あいさつ
- 4 出席者紹介(自己紹介)
- 5 地域福祉保健計画 令和3年度の振り返り  
富岡第一地区社会福祉協議会会長

### 【概要】

- 地区社協会長より、以下の趣旨の説明があった。
- ・こども食堂は好評で、用意したカレーがすぐ売り切れてしまうので、終わりの時間を短く変更したほど。
  - ・コロナでどの地区もイベントができていなかった時期でも、工夫しながら餅つき大会を実施できた。区役所生活衛生課に相談して協力してもらい、電動餅つき機を手配して実施した。
  - ・この地区は防犯パトロールにも力を入れており、継続して実施。また、バス停・公園の清掃も継続実施した。

- ・何年かぶりに落書きもあり、お元気お助け隊メンバーが除去を行った。
  - ・今年度作成した地区別リーフレットの最終ページは、小田小・中の記念行事の中で使われていた「木」を参考にさせてもらい作成した。
  - ・地域は区やケアプラ・区社協と協力することで動きやすくなる。これからも連携していきたい。
- 地福計画3年度の振り返りについて、質疑なく了承された。

## 6 学校での子どもたちの様子について

小田中学校校長

### 【概要】

- ・卒業式の前の週に学級閉鎖が起きてしまって、卒業式に出られない生徒が出てしまったが、別日に「プチ卒業式」をすることができた。そこには卒業式に出られた生徒も参列してお祝いできた。
- ・チームゆうきの人たちには本当に支えてもらった。来年度もう一人車いすの生徒が入学する予定。学校全体で支えていきたい。障害がある、ないに関わらず自分らしく過ごせる学校になれるとよい。
- ・コロナ禍でネット環境の整備が一気に進み、子ども達の適応力のすごさを実感。動画づくりなどは子供たちの方が大人よりすごいかもしれない。
- ・まだ企画の段階だが、SDGs 実現への取組として生徒が廃プラスチックを使ってバッグを作っている。今後お祭りなどで販売できないかと思っている。
- ・色々な人たちが子どもたちを見守ってくれていると感じた1年。コロナ禍で出来なかったことも多いが、コロナ禍ならではの気づきと成長もあった。
- ・「信頼と温もりと笑顔」にあふれた学校にしていきます。よろしくご協力お願いします。

小田小学校校長

### 【概要】

- ・小田小は金沢区内の公立小の中では一番児童の人数が多く、600人くらいの児童数がある。さらに来年度はもう少し増える予定。
- ・学校行事はコロナの関係でいろいろと変更があったが、4年生・5年生・6年生の宿泊行事については、何らかのイベントができてよかった。4年生・6年生は宿泊行事が実施できたし、5年生は、残念ながら宿泊はできなかったが、日帰りの体験学習が実施できた。
- ・水泳の授業も実施できた。
- ・小田小は交通安全の取り組みに力を入れている。自転車マナーアップ小学生大会では全体の部・個人の部ともに優勝。また神奈川県から交通安全の取組で表彰を受けた。
- ・これからも、地域で子どもたちを見守りいただきたい。

7 令和4年度金沢区予算の紹介  
地区支援チーム

7-2 転出者の紹介

- ・福祉保健センター長、生活衛生課食品衛生係長、社会福祉協議会事務局長、並木地域ケアプラザ所長、小田中副校長、小田小副校長よりご挨拶。

8 閉会のあいさつ

富岡第一地区 連合町内会副会長及び社会福祉協議会副会長

【概要】

- ・地区別計画の「ささえあい みんなの顔がみえる街」というタイトルが非常によい。
- ・もちつき大会では、参加した班長さんが「班長として活動して、こんなにたくさんの方が地域で活動していることを初めて知った。」と言っていた。自分も、サンタの格好をしてイベントに参加して、改めて自分が副会長として活動しているなど実感した。
- ・これからも、たくさんの方に地域活動に参加してもらって、こういった活動があるということが広まってくれるとよい。
- ・地域・区・ケアプラ・区社協などなどがこれからもっとつながっていくとよい。